

No.040 東京ユニオン物流㈱ 【輸送モード:トラック】

「乗務員が自ら討議し、設定した目標を実践する風土が安全体制を構築する。」

1. 概要

企業情報

所在地	東京都武蔵村山市伊奈平 2-100-2			創立	1978 年
年 商	25 億円	人員数	280 名(乗務員 116 名含む)	資本金	1,500 万円
拠点数	本社及び本社営業所、川口営業所、横浜営業所の計 4 拠点	車両等	105 両 (うち大型:13 両、4ton:27 両、2,3ton:65 両)		
事業内容	一般貨物自動車運送事業、積合せ貨物運送事業、自動車運送取扱業、軽貨物自動車運送事業他				
輸送品目	照明、ガス、水道設備のほか、住宅設備関連器材等全般				
取引先	住宅設備関連製造メーカー他				

組織的安全マネジメントの特長

キックオフ大会にて会社の年間スローガンを乗務員たちが設定している。設定に至るまでの経過を全員が理解しているため、自分の目標として実践できている。会社がスローガンに対して手を加えることはしない。

乗務員の中で「みんなのノート」を回覧、記載する活動が行われている。事故が多発した時に乗務員が自主的に始めた活動であり、安全も含めた日々日常の気付きなどを記載する。

毎月 19 日を“一工夫×改善の日”と定め、「KAIZEN シート」「ヒヤリハットシート」を集めている。安全環境対策室が一人一人にコメントを記入して返し、徹底的に個別のフォローをすることで PDCA の手順に基づく改善活動を定着させ、提出率も高めている。

調査者所見

小集団活動だけでなく、日々の「みんなのノート」「危険予知訓練シート」や「ヒヤリハットシート」「KAIZEN シート」や定期的個別面談など、トップ・安全環境対策室・乗務員が繰り返し関わることで、乗務員を会社の運営にうまく巻き込んでいる。このことが乗務員が自分だけでなく、チームや会社のために安全を実現しようという意識と行動につながっているのではないかと感じた。トップと管理者が一朝一夕ではなく、試行錯誤しながらチーム活動を中心とした安全をマネジメントする仕組みを構築してきた。

調査情報

調査日	2010 年 3 月 30 日	訪問先	本社及び本社営業所
対応者	代表取締役、管理部長、総務課シニアマネージャー、運輸課長、安全対策室課長代理		

(注) 企業情報等の内容は調査日を基準日とした内容である

2. 会社の概要、創業からの成長経過

オイルショックを契機に運送取扱業務及び、折り畳みコンテナやコンビテナーなどの物流機器の物販事業を目的として 1978 年に会社を創立した。景気の回復と共に、運送事業へ注力し、ホームセンター向けの仕分け、チェック業務や積み合わせ輸送を開始した。

皆で一緒に事業を立ち上げていこうとの意味を込めて、「ユニオン」物流とし、その後、親会社である東京システム運輸(株)の名から東京を頭に付けて東京ユニオン物流(株)に会社名を変更した。

首都圏の小口混載業務を手掛ける。関東圏内、中京、仙台などのメーカーから製品の納品を受けて、仕分けを行い配送する業務を行っており、メーカーから事前に出荷データを頂き、送り状、仕分け、発送シールの貼付などの代行業務と配送業務に展開していった。

首都圏トライアングルXと名付けて、本社営業所、川口営業所、横浜営業所をそれぞれターミナルX、ターミナルX2、ターミナルX3と名付け、それぞれの配送範囲として大きく3つのブロックに分担する形で配送業務を行っている。Xは人と物、時間と情報がクロスする場所として名付けられた。また、当初はホームセンター関連の業務から始まったが、その後、各種メーカーへの営業展開を図り、多種品目を取り扱うようになった。現在は、照明やガス、水道設備のほか、住宅設備関連器材等全般の配送をメインとしている。長距離の運行はなく、中距離の配送業務を主体とした経営が行われている。

3. トップの考え方

安全を経営者が日々説いても、あくまでも乗務員本人の自覚が必要である。また、いくら安全意識の浸透に取り組んでも、すぐに効果が出るものではなく、時間を要する為、忍耐が必要と考えている。

朝一番は、業務の始まりであり重要視し、乗務員も気持ちよく出発できることが大切と考えており、毎朝 1 時間、社長自ら現場営業所へ赴き、現場の巡回を行っている。また、乗務終了後にも労をねぎらうことが大切と考え実践している。

本社営業所に毎日の現場巡回を行うほか、川口、横浜にも月 1 回現場巡回に行くように心掛けており、新しいプロジェクトが始まった時なども、必ず現場を巡回し、状況確認を行う。社長自ら個別面談も行っていることから、社長の顔が分からない乗務員はいない。

無事故表彰は、チームでの表彰制度を採用し、個人表彰は毎年優良ドライバーを選出し、事務所に顔写真と共に掲示する。

改善提案制度は、親会社の東京システム運輸(株)と共同で運用しており、毎月約 20 件の提案が出されており、年間表彰も行われており、表彰された東京ユニオン物流(株)の社員も多い。

□経営の理念等についてはホームページに記載

<http://www.tokyo-system.co.jp/tud/index.htm>

4. 組織的安全マネジメントへの取り組み

A) トップのコミットメントと行動

ポイント	CL 項目※
◆朝一番は、業務の始まりとして重要であり、乗務員が気持ちよく出発できることが大切と考え、毎朝 1 時間、社長自ら現場営業所に赴き、現場の巡回を行っている。また、乗務後にも労をねぎらうことも大切と考え実践している。	A 1、B 1 D 4、D 7
◆ドライバーの年 1 回の管理者面談に合わせ、トップ自ら毎月 15 名から 20 名の乗務員の個別面談を実施し、状況を把握している。	A 1、B 5
◆新しいプロジェクトが始まった時なども、必ず現場を巡回し、状況確認を行っていることから、社長の顔が分からない乗務員はいない。	A 1、B 1 D 4、D 7

※CL 項目とは、組織的安全マネジメントチェックリストの項目である。項目の内容については「7. 組織的安全マネジメント チェックリスト自己評価結果」参照。

- ・安全対策意識の浸透を図って取り組んでも、すぐに効果が出るものではない。
- ・経営者が日々説いても、あくまでも本人の自覚が必要であり、時間を要するもので忍耐が必要と考えている。
- ・毎朝 1 時間、社長自ら現場営業所に赴き、現場の巡回を行っている。現場で働いている従業員に声をかけ、何でも気付いたことを質問し、「口を出す」ということにより、管理者は緊張感を持たされている。
- ・朝一番は業務の始まりであり重要と考えており、乗務員も気持ちよく出発できることが大切と考えている。
- ・乗務終了後にも労をねぎらうことが大切と考えている。
- ・本社営業所には毎日現場巡回を行っており、川口、横浜にも少なくとも月 1 回訪問するように心掛けている。
- ・新しいプロジェクトが始まった時なども現場を訪問し、状況確認を行っている。
- ・ドライバーの年 1 回の管理者面談に合わせ、トップ自ら毎月 15 名から 20 名の乗務員の個別面談を実施し、ドライバーの状況を把握している。
- ・この為、社長の顔が分からない乗務員はいない。
- ・無事故表彰は、チームでの表彰制度を採用している。
- ・個人としては、毎年優良ドライバーが選出されており、事務所に掲示されている。
- ・改善提案に関しては、親会社の東京システム運輸(株)と共同で運用しており、毎月約 20 件の提案が出されており、年間表彰も行われている。

B) マネジメントシステム

ポイント	CL 項目
◆キックオフ大会にて会社の年間スローガンを乗務員たちが設定している。設定に至るまでの経過を全員が理解しているため、自分の目標として実践できている。会社がスローガンに対して手を加えることはしない。	B 1、B 2 C 2、C 3 C 5、D 1
◆乗務員の中で「みんなのノート」を回覧、記載する活動が行われている。事故が多発した時に乗務員が自主的に始めた活動であり、安全も含めた日々日常の気付きなどを記載する。	B 1、B 3 C 2、C 5 D 7、D 9

【人事・マネジメント関連について】

- ・会社の経営計画に基づき、管理者が各人のアクションプランを立案している。
- ・乗務員も新年に 1 回、目標を立て、半期終了時点で個人面談を行い見直しを行う。
- ・平成 17 年に NASVA の適性診断システムを組み込み、カウンセリング活用講座の実践など、NASVA のコンサルティングを受けながら安全体制の再構築と展開を図った。再構築の構想から浸透するまでに 2,3 年を要した。
- ・6、7 年前から班ミーティングはあったが、業務連絡が中心で開催も不定期であったため、自発的活動に重点を置いた再構築を実施した。「自ら取り組み目標を設定し、自分の責任で実行する」という今の小集団活動への転換を図った。
- ・当初は、運輸課長と NASVA のカウンセラー資格を取得した安全対策室が主体で運営し、運行管理者と係長に月 2 回の会議の場で教育を行った。
- ・現在の班活動は係長を主体とした活動となっている。
- ・キックオフ大会にて会社の年間スローガンを乗務員たちが設定する。
- ・設定に至るまでの経過を全員が理解しているため、抽象的な表現であっても本人たちは理解して実践できる。
- ・会社がスローガンに対して手を加えることはしない。
- ・乗務員の間で「みんなのノート」が回覧、記載する活動が行われており、安全も含めた日々日常の気付きなどを記載している。
- ・この活動は、一時期事故が多発した時に乗務員が自主的に始めた活動となっている。
- ・乗務員の給与水準は、業界では中の上クラスではないか。
- ・9 割が固定給であり、残りが変動給である。変動給は、成果給と事故、クレームなどの減点などからなっている。給与面にも乗務等の業務内容を評価対象として入れている。
- ・改善提案や月 2 回のヒヤリハットシート等の提出も評価対象としている。
- ・社員の平均年齢は 40 才弱であり、5 年後には、30 才台の乗務員がいなくなってしまう。

【情報の活用・会議等について】

- ・安全方針を全従業員に配布し、各拠点に掲示し、周知、浸透を図っている。
- ・全社のスローガンと共にチーム毎のスローガンを設定する。
- ・スローガンは各営業所に掲示するとともに、バッチや車両のキーホルダー等にも刻印し配布している。
- ・会社と各チームの年間スローガンについては、時々、点呼時などに唱和、確認させて各人の自覚と気付きを促している。
- ・キックオフ大会(安全推進決起大会)が毎年開催されており、原則として全員参加する。
- ・全員集まることは難しいが、土曜日の半日など、業務スケジュールの調整や協力会社との調整を行い、出席率は昨年で97%、今年は99%であった。
- ・先日開催された車両・商品事故撲滅運動「ゼロチャレンジ2010」大会では、リハーサルも含めて1日かけて開催された。
- ・キックオフ大会は、チームミーティングが主な内容となっており、チームミーティングに約2時間が割り当てられている。
- ・毎月、第2土曜日の午後にチームリーダー会議を行っており、問題解決のプロセスを学ぶ場となっている。
- ・適性診断を活用している。適性診断の結果にコメントをメモして本人に手渡している。
- ・適性診断結果には注意事項等のプライベートな個人情報に関わる事について記載されているので、本人のみに手渡し、コメント等をメモした文書は公開されないように、残さない。
- ・これまでに、注意が必要と感じた乗務員の存在に気付き注意しようと思った矢先に事故が生じてしまったケースもあり、配慮すべき乗務員に関する情報を如何に早く把握することが重要と考えている。

【安全に関する費用について】

- ・車両の運行状況がwebで確認できるデジタルタコグラフを全車に導入しており、日常の乗務員の指導に役立てている。
- ・ドライブレコーダーは全車両の約20%、バックアイカメラは大型車をはじめ約50%に装着している。
- ・NASVA ネット関連機器の設置のほか、深視力測定器、夜間視力測定器、動態視力測定器も設備され、各乗務員の個別指導に活用されている。

C) 教育訓練制度

ポイント	CL 項目
◆管理者は、乗務員の中で回覧、記載されている「みんなのノート」をチェックしており、記載事項に関して配慮が必要と感じた時には、当該乗務員に対してのカウンセリングを行っている。	C 2、C 5 B 3、D 7 、D 9
◆チームミーティングの前に、毎月 1 回のチームリーダーミーティングが実施されており、ミーティングの進め方や意見を出す為の工夫、乗務員の潜在能力を引き出す手法等のリーダーとしての役割に関する討議、研修が行われている。	C 2、C 5 、B 5
◆毎月 19 日を“一工夫×改善の日”と定め、「KAIZEN シート」「ヒヤリハットシート」を集めている。安全環境対策室が一人一人にコメントを記入して返し、徹底的に個別のフォローをすることで PDCA の手順に基づく改善活動を定着させ、提出率も高めている。	C 2、C 3 C 4、B 3

【採用・新人研修関連について】

- ・本人の資質によっても変わるが、採用後は、約 1 カ月間の研修を受ける。
- ・最初に 1 週間の座学の後、1 週間の現場での仕分け業務、その後チームリーダー等による同乗指導が行われ、リーダーからの合格結果を受けて、安全対策室・業務課の卒検で合格した後、1 人乗務が行えるようになる。
- ・未経験者では、研修に 3 カ月要することもある。

【乗務員の研修等について】

- ・NASAVA のカウンセリングの資格を取得し、乗務員への指導に活用している。
- ・管理者は、乗務員の中で回覧、記載されている「みんなのノート」をチェックしており、記載事項に関して配慮が必要と感じた時には、当該乗務員に対してのカウンセリングを行っている。
- ・NASVA ネット関連機器の設置のほか、深視力測定器、夜間視力測定器、動態視力測定器を活用して、毎年、各乗務員の誕生日月に個別指導を行っている。
- ・誕生日に行うことに変えたのは、誕生日は自分の歳を意識する時期であり、本人も指導を受けることを覚えておきやすいことを考慮して変更した。各乗務員への個別指導を各乗務員の誕生日月に実施するように変えてから 2 年になる。
- ・個人別の教育ファイルがあり、個人ごとに教育した内容や指導事項等をファイリングしている。これを見ることで過去の指導や研修の経緯を管理者、本人共に確認することができる。
- ・乗務員自身が各チーム毎に過去の事故事例を分析し、事業所毎の年間目標を設定し、自主的に行動していく、やる気に重点を置いた小集団活動を NASVA の支援の下で実施している。
- ・チームミーティングの前に、毎月 1 回のチームリーダーミーティングが実施されており、

ミーティングの進め方や意見を出す為の工夫、乗務員の潜在能力を引き出す手法等のリーダーとしての役割に関する討議、研修が行われている。

- ・5、6年前から、各乗務員が活用できるように、全乗務員に危険予知訓練のファイルを配布し、参照できるようにしている。
- ・また、「KAIZEN シート」「ヒヤリハットシート」を乗務員に配布し、自分がどのような危険を感じるか等を記載して提出する活動を行っており、安全環境対策室が一人一人にコメントを記入して返す方法で、個別のフォローを行っている。
- ・構内に会場を設置して、全事業所から選抜されたオペレーター参加によるフォークリフトコンペが実施されている。
- ・トラック協会等のエコドライブ研修やワンデイ研修などの外部の研修機関も活用している。
- ・NASVA ネットで日常生活面をチェックし、指定された乗務員は埼玉県トラックセンターでの研修を受講している。

【小集団活動について】

- ・本社営業所では、現在8チームが構成されている。
- ・小集団活動としてのチームミーティングを毎月1回実施している。
- ・各チームは、約10名の構成となっており、リーダーの下で主な活動が行われており、活動の際には、意見を出しやすい環境づくりの為に管理者を入れない形で実施している。
- ・チームリーダーへの研修、教育に約2年を要し、それと並行して課長、係長、主任の順に研修、教育指導を行い、安全意識の浸透を図っていった。
- ・毎年のキックオフ大会で、任期1年のリーダーの選出が行われており、リーダーが変わるチームもあれば変わらないチームもある。
- ・チームリーダーには、主任クラスの乗務員が本人の承諾の下に選出されており、チームミーティング活動等での進行役、まとめ役を務める。
- ・最初、チームミーティングでは意見に参加する人と積極的に参加しない人に分かれている雰囲気があったが、3,4年前頃から全員が自ら参加する意識に変わった。
- ・キックオフ大会では、各チームが、これまでの経過を振り返り、事故原因の分析、対策を検討、討議し、チームの目標を設定し、チームが意識統一しやすいスローガンを設定する。これをチームリーダーが全員の前で発表している。
- ・そして、次にチームリーダー討議が行われ、全社としての交通事故削減目標とスローガンが決定される。
- ・乗務員が自分たちで設定する目標であり、設定に至るまでの経過について全員が理解して実践することを目的とすることから、抽象的な表現であっても本人たちは理解して目標に向かって実践出来る為、会社がスローガンに対して手を加えることはしていない。
- ・上からの形式的な連絡、注意事項を伝達するだけでは社員に安全意識を浸透することは難しく、自分たちで討議して目標を決め、遂行する手法を採用している。
- ・チーム制の導入により、個人意識からチームによる仲間意識に変わり、チームの一員としての安全、目標に貢献する意識に変わった。

D) 現場管理

ポイント	CL 項目
◆事務所に無事故連続日数記入ボードが掲示されており、毎日、各乗務員がその記入ボードで、チームの状況を確認して出発している。	D 1、D 2 、 B 3
◆点呼時に「チームの無事故記録は何日目ですか？」と答えてもらうことで、乗務員のチーム活動への関わり意識と、無事故への注意を喚起している。	D 5

【日常業務等について】

- ・ドライバーに気持ち良く業務に出かけてもらうことが基本と考え、トップ自ら現場に顔を出し、帰庫時にはねぎらいの言葉をかけるようにしている。
- ・事務所に無事故連続日数記入ボードが掲示されており、毎日、各乗務員がその記入ボードで、チームの状況を確認して出発している。
- ・点呼時に「チームの無事故記録は何日目ですか？」と答えてもらうことで、乗務員のチーム活動への関わり意識と、無事故への注意を喚起している。
- ・各乗務員に担当車両が割り当てられている。3割程度は乗換がある。
- ・安全衛生、事故防止の観点から、ドライバーの労務時間管理を徹底し、その一環で出勤時間についても厳しく管理を行っている。
- ・乗務員には車好きの人が多く、洗車に何時間も掛けているケースもあることから、洗車機を設備した。
- ・車の整理整頓の状況も乗務員の変動給の評価項目にすることで、車両の整理整頓も自分で行うよう意識づけている。

5. 顧客や取引先との関係

常に、お客様の期待に応えることを目標に努力を続けてきた結果、成長を続けてくることができたものであり、お客様と一緒にこれまでの成長がある。

親会社も安全に対しての取組みに熱心であり、親会社の指導の下、一緒に安全に取り組んでおり、現在、受入・最終検査の強化、プロドライバーの育成の2点を特に重点目標として掲げ、今後もお客様満足度の向上を目指し、物流品質重視の思想のもと、指定して頂ける企業を目指している。

地球温暖化抑制の観点から、環境にやさしいクリーンエネルギーとして風力発電を導入し、また、光熱費の削減を目指すことを目的に事務所の屋上を緑化するなど、環境問題へも積極的に取り組んでいる。

6. 安全に関する実績データ

【交通事故発生率】

事故を数値的に把握し、対策を講じる上で、交通事故だけでは件数が少なかったことから、商品事故に関してもカウント、管理している。

ここ2年で、事故が減ってきている。

バックアイカメラの過信によるバック事故が発生するケースがあり、バック事故を無くすためにバックアイカメラを取り外すことも一案と考えている。

軽微な事故も含めた有責事故件数は、下記のとおりである。

年	事故件数(件)	走行距離:約(km)	交通事故発生率(件/10万km)
平成20年	17	3,280,260	0.53
平成19年	11	3,138,763	0.35
平成18年	14	3,082,161	0.46

計算式：事故件数÷走行距離×10万km

7. 組織的安全マネジメント チェックリスト自己評価結果

区分		項目		評価
A	トップのコミットメントと行動	A 1	行動見本（現場巡回）	ウ
		A 2	経費予算配分	ウ
		A 3	賞罰制度	ウ
B	マネジメントシステム	B 1	理念・行動指針	イ
		B 2	マネジメントサイクル	ウ
		B 3	情報管理のしくみ（安全の実績・情報）	ウ
		B 4	人員配置と異動	ウ
		B 5	管理者育成	ウ
		B 6	協力業者管理（関連会社等）	イ
		B 7	お客様の評価	ウ
C	教育訓練制度	C 1	採用・新人教育	イ
		C 2	運転スキル、作業スキル訓練	ウ
		C 3	事故分析、再発防止教育	イ
		C 4	KYT、ヒヤリハット	ウ
		C 5	小集団活動（班活動）	イ
D	現場管理	D 1	ルールの順守	ウ
		D 2	日常点検・整備	イ
		D 3	整理、整頓、洗車、清掃	ウ
		D 4	現場巡回指導（街頭指導）	イ
		D 5	点呼・朝礼	ウ
		D 6	身だしなみ、服装	ウ
		D 7	挨拶、返事、報告	ウ
		D 8	時間管理、生活管理	イ
		D 9	協力意識	イ

※組織的安全マネジメントのチェックリスト（詳細）は、国土交通政策研究所のホームページから入手可能。検索エンジンで「国土交通政策研究所」と入力。“●研究会・アドバイザー会議等”のページにある“運輸企業のための組織的安全マネジメント手法に関する調査”「第3回アドバイザー会議資料（平成21年3月17日）資料3」の郵送調査票参照。



写真1
車両風景



写真2
CNG車両風景



写真3
点呼場所風景



写真4
NASVAネット
新適性診断機器



写真5
深視力測定器、夜間視力測定器、
動態視力測定器

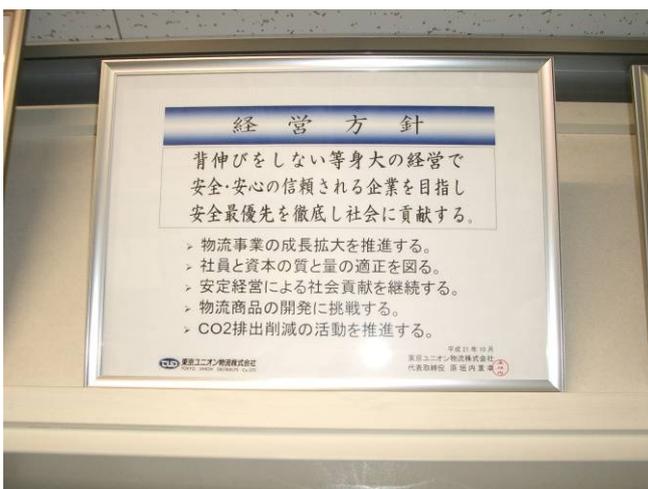


写真6
事務所内掲示風景
経営方針



写真7

事務所内掲示風景

基本理念

品質方針・環境方針

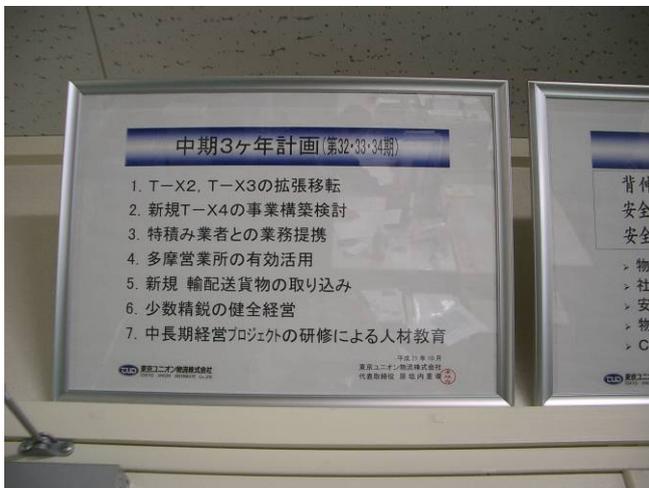


写真8

事務所内掲示風景

中期3ヶ年計画



写真9

事務所掲示風景

第43期基本方針

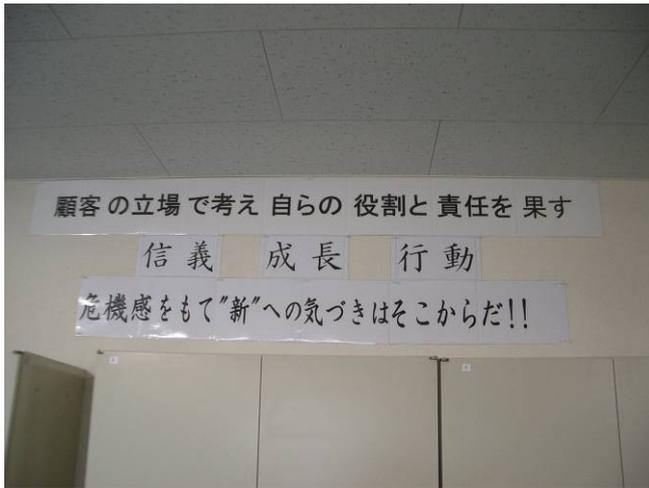


写真10
事務所内掲示風景
全社スローガン



写真11
キーホルダーへの
スローガンの刻印



写真12
事務所内掲示風景
チーム別スローガンと連続
無事故、事故件数



写真13
ターミナル側から見た
本社営業所風景

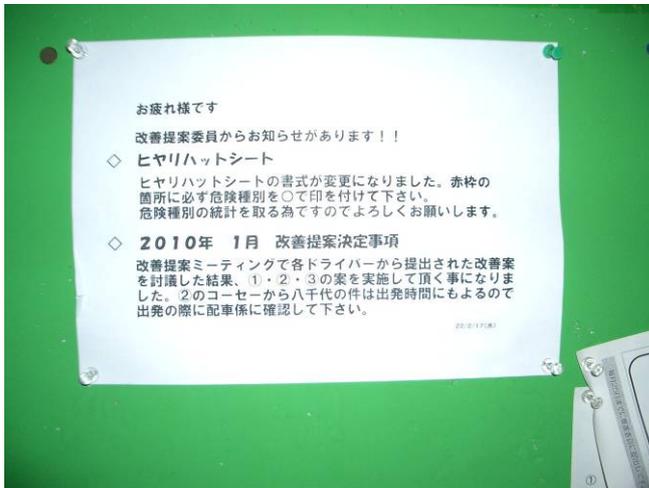


写真14
事務所内掲示風景
ヒヤリハットと改善提案
事項等に関する注意事項



写真15
事務所内掲示風景
各種伝達事項等



写真16
みんなのノート

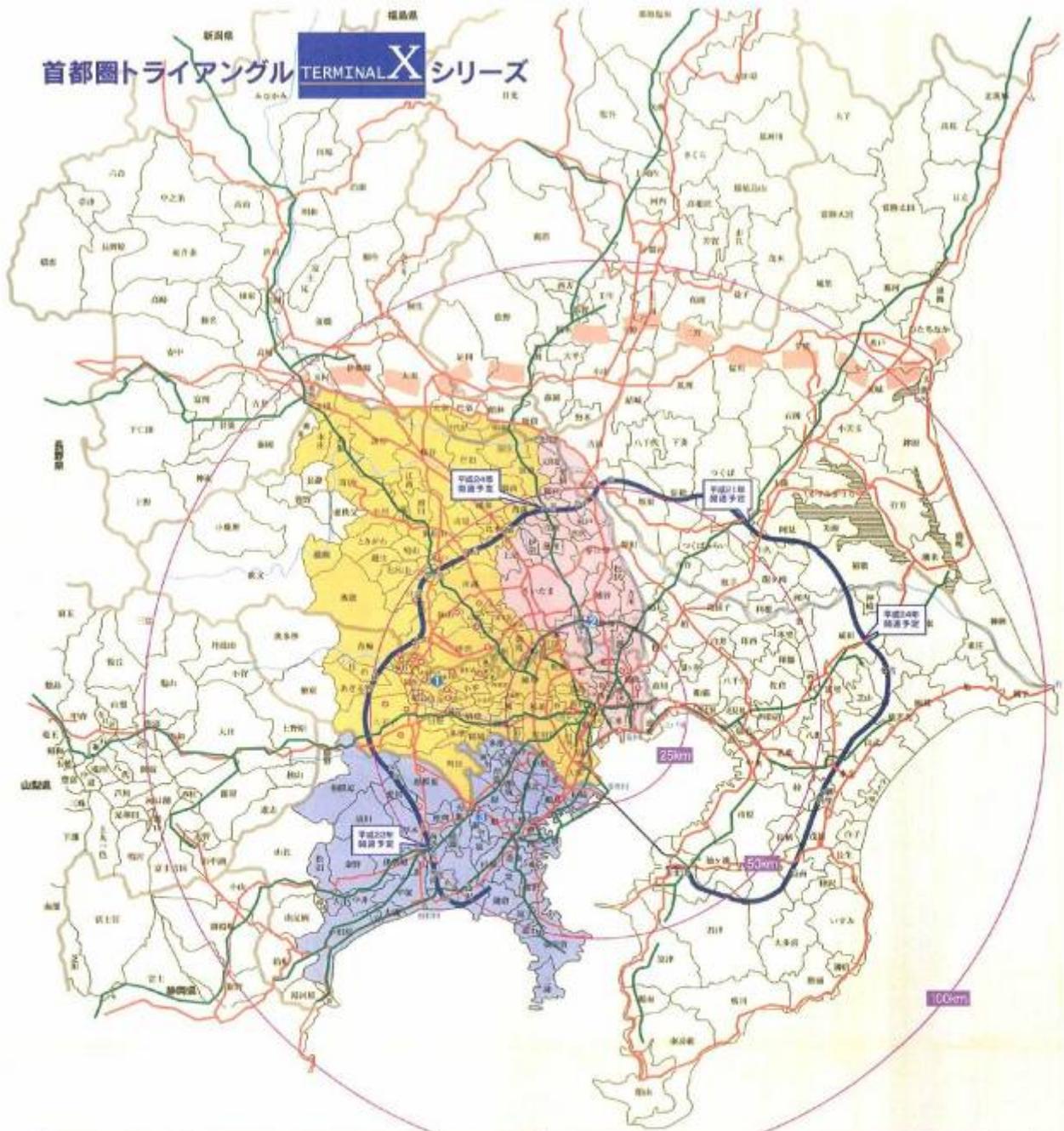


写真17
事務所内掲示風景
表彰状



写真18
グリーン経営認証と安全性
優良事業(Gマーク)

帳票類：首都圏トライアングル（各営業所の担当範囲）



1 ターミナルX

〒208-0023 東京都武蔵村山市伊勢台2-100-2
Phone 042-560-0811 Fax 042-560-0660

■ 敷地 面積	14,450.00㎡	■ 敷地 面積	2,700.00㎡
■ 延床 面積	262,157㎡	■ 延床 面積	2,700.00㎡
■ 建築 年次	2011.00	■ 建築 年次	2011.00
■ 建築 費	1,500.00万円	■ 建築 費	1,500.00万円
■ 設計 費	1,000.00万円	■ 設計 費	1,000.00万円
■ 監理 費	100.00万円	■ 監理 費	100.00万円
■ 工事 費	1,000.00万円	■ 工事 費	1,000.00万円

2 ターミナルX 2

〒204-0052 埼玉県川口市安行西5-1-1
Phone 046-291-4180 Fax 046-291-4182

■ 敷地 面積	301,420㎡	■ 敷地 面積	301,420㎡
■ 延床 面積	17,500㎡	■ 延床 面積	17,500㎡
■ 建築 年次	2011.00	■ 建築 年次	2011.00
■ 建築 費	110,000.00万円	■ 建築 費	110,000.00万円
■ 設計 費	10,000.00万円	■ 設計 費	10,000.00万円
■ 監理 費	1,000.00万円	■ 監理 費	1,000.00万円
■ 工事 費	100,000.00万円	■ 工事 費	100,000.00万円

3 ターミナルX 3

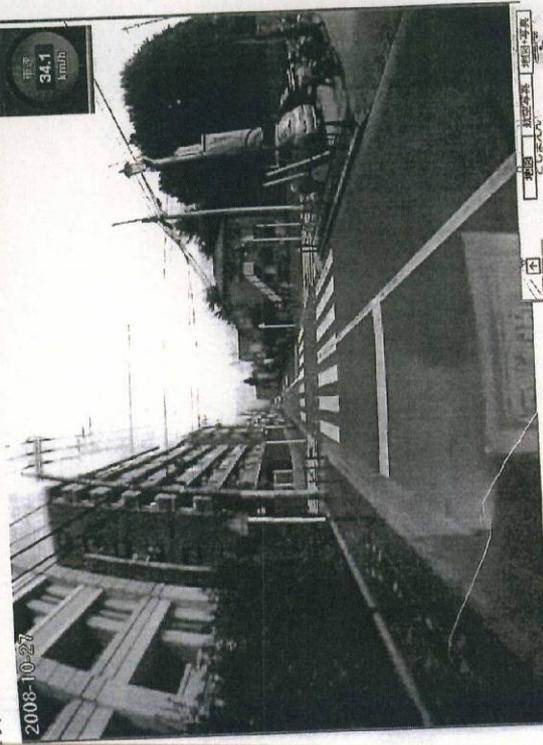
〒246-0002 神奈川県横浜市港北区上町25-9
Phone 045-395-7101 Fax 045-395-7111

■ 敷地 面積	192,500㎡	■ 敷地 面積	192,500㎡
■ 延床 面積	30,400㎡	■ 延床 面積	30,400㎡
■ 建築 年次	2011.00	■ 建築 年次	2011.00
■ 建築 費	1,000.00万円	■ 建築 費	1,000.00万円
■ 設計 費	1,000.00万円	■ 設計 費	1,000.00万円
■ 監理 費	100.00万円	■ 監理 費	100.00万円
■ 工事 費	1,000.00万円	■ 工事 費	1,000.00万円



危険予知訓練シート
東京エニオン物流株式会社
 平成22年1月
このままなら19年と並ぶ高記録達成！(内容は指示物参照)
 2月1日(月)までに各係長に提出願います

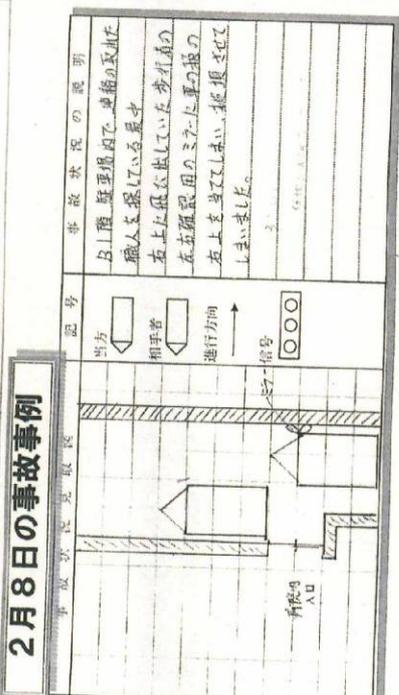
本文章を読んで、この時あなたなら「何処に注意するか」または「どのような危険があるか」、そして「どうすれば「回避できるか」」を記入して下さい。



どんな危険が潜んでいると予断されますか？
 ① 正面交差点信号が赤点灯
 車：自転車等が飛び出してくる
 ② 近くには学校がある
 ③ 月間要領通りは公道とあり
 ④ 月間要領通りは公道とあり
 ⑤ 月間要領通りは公道とあり
 ⑥ 月間要領通りは公道とあり
 ⑦ 月間要領通りは公道とあり
 ⑧ 月間要領通りは公道とあり
 ⑨ 月間要領通りは公道とあり
 ⑩ 月間要領通りは公道とあり
 ⑪ 月間要領通りは公道とあり
 ⑫ 月間要領通りは公道とあり
 ⑬ 月間要領通りは公道とあり
 ⑭ 月間要領通りは公道とあり
 ⑮ 月間要領通りは公道とあり
 ⑯ 月間要領通りは公道とあり
 ⑰ 月間要領通りは公道とあり
 ⑱ 月間要領通りは公道とあり
 ⑲ 月間要領通りは公道とあり
 ⑳ 月間要領通りは公道とあり

どんな運転をしますか？
 ① 制限速度を守り、歩行者も、最後行をする
 ② 視野を広げ、視界を広くとる
 ③ 状況をよく判断する

- 産業廃棄物の種類
- 1 灰ながら
 - 2 汚泥
 - 3 エンジンオイル
 - 4 廃液
 - 5 アルカリ性
 - 6 アルカリ性の廃液
 - 7 廃プラスチック類
 - 8 紙くず
 - 9 繊維くず
 - 10 動植物性残渣
 - 11 ゴムくず
 - 12 金属くず
 - 13 ガラス、陶磁器くず、セラミックス
 - 14 灰じん
 - 15 かけしり
 - 16 資源のじん
 - 17 資源の残体
 - 18 じん
 - 19 上記の18種類の産業廃棄物と見做すために処理したもの
 - 20 1～19の廃棄物、損害廃棄物と見做された廃棄物



- Q1. 過去に類似事故が発生していると聞きますか？
1. YES 2. NO
- Q2. Q1にYESと答えた方は、どんな事故だったか簡単に書いてください。(何件でも可です)
- ① 地下駐車場で、エレベーターを下げる際に進入し、エレベーターが倒れた。
- Q3. 再発防止には、どんな行動が必要でしょうか？
- ① 特に、地下駐車場で、エレベーターの空間では、其のエリアを認識し、エレベーターの位置を常に確認する。

KAIZENシート

タイトル
空ドラムの積み方 II
該当業務 (顧客名):

所属: 運輸
氏名: []

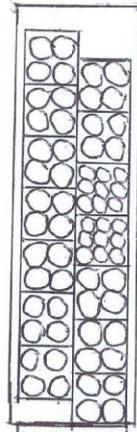
提出日 2017年1月1日
受理No: []
社員番号: []

1-13
[] 実施済み
[] 未実施

【今までのやり方と問題点】… 箇条書きで、具体的に

富士フレイバーの空ドラムを積み込む時にドラムの出っ張りの所と引込みの所を合わせてパレットを半分ずつにして積み込みをしていた
200L缶100ヶ、50L缶54ヶまごは積み込めだが、50L缶が63ヶになるとパレット一枚分パラスを合わせることができなかった

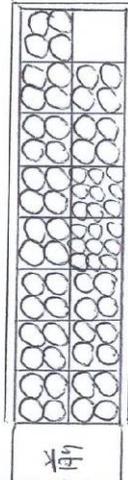
・図やイラストを書いてください



【新しいやり方-KAIZEN】… 箇条書きで、具体的に

最初にドラムを積み込む時に荷台一杯に寄せて積み片側積み終わったらアオリを上げてウレグも開める、反対側も前から積み込む、多少出っ張っても押しこめ入れるパレット14枚積み終わったら荷台の後ろから最後のパレットを積み込むことで200L缶100ヶ、50L缶63ヶは入る200L缶だけなら16パル、128ヶOK
※21-53は、観音ボヤが狭いので後ろからはドラム4本は入り

・図やイラストを書いてください



【改善の効果】

ずらして積みこむ一帯前のパレットにラップを巻いていたのが不要になり前分が積み込むのが荷崩れの原因も無くなった

【改善のポイント】

推進員が評価する。良くなった→○

1. 安全衛生	危険の防止 ○	商品事故
	安全意識	作業ミス
	5 S	情報連絡
2. 作業品質		
3. 生産性	ムダの排除	お客の評価
	時間の短縮 ○	お客を巻き込み
	場所の削減	仲間の評価
4. 改善の評価		

※ 上位賞への推薦 = ○ 2つ以上は上位賞の候補

【所長のコメント】… 本人の工夫・努力、経済効果など

積み込み時間短縮はかかっています
ないですか？早く積み出し、1回の輸送で済むなら時間短縮ですわ

委員長	Q M	事務局

毎月19日はKAIZENの日
東京ユニオン物流株式会社
FOXTON UNION LOGISTICS Co., Ltd.

※意見・注文・要望は受け付けられません。

DECCA